

伊達市学校施設利活用審議会 会議記録

		区 分		第5回審議会	
開催日時	平成29年11月6日(月) 午後3時00分～午後5時15分				
開催場所	伊達市役所本庁舎2階 庁議室				
出席の状況 (○出席者 ×欠席者)					
1	今西 一男委員長	○	2	渡辺 雅子副委員長	○
3	渡邊 武委員	×	4	萩原 嘉昭委員	○
5	大友 靖子委員	○	6	高木 征治委員	○
7	石津 伸一委員	○	8	三瓶 洋一委員	×
9	長澤 健一委員	○			
10	高橋 昌宏地域政策監	○	11	齋藤 和彦地域振興対策室長	○
12	岡崎 利浩梁川総合支所長	○	13	原 好則教育総務課長	○
14	野田 善和課長補佐兼係長	○	15	遠藤 裕之主査	○
会議の内容 (発言記録、説明要旨等)					
司会	<p>ご案内の時間となりましたので、まだ二人の委員がお見えになっていませんが、只今より「伊達市学校施設利活用審議会第5回審議会」を始めさせていただきます。お手元の資料、次第によって進めさせていただきます。よろしくお願ひします。初めに今西委員長よりご挨拶をお願いします。</p>				
委員長	<p>皆さんこんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今日は、サウンディング型市場調査の進展があったようですので、その内容についてお話を伺って、皆さんから色々ご意見いただければと思います。議事の2番にあります、個別の地区から要望が出てきておりますので、全体と個別地区の計画内容について、ご意見いただければと思います。今日はどうぞよろしくお願ひします。</p>				
司会	<p>ありがとうございます。それでは3番の議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、今西委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>				
委員長	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。今日は議事が大きく2点ございます。まずは、前回の審議会以降の取り組み状況についてという事で、サウンディング型市場調査の結果等について説明いただいて、その後個別の旧白根小学校、旧富野小学校の計画内容について確認していただきたい。議事(1)第4回学校施設利活用審議会以降の取り組みについて①から③まで、事務局から説明をお願いします。</p>				
事務局	<p>資料の確認をさせていただきます。資料1第4回学校施設利活用審議会以降の取り組みについて、別冊1梁川地域の旧小学校の利活用に係るサウンディング型市場調査結果、資料2国交省「官民</p>				

	<p>対話・事業者選定プロセスに関する運用ガイド」、資料3 地区学校施設利活用検討会開催状況について、資料の不足はありませんでしょうか。</p> <p>それでは第4回利活用審議会以降の取り組みについて、ご説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>(資料1、別冊1、資料2、資料3を使用し説明)</p> <p>(議事を説明)</p> <p>資料1、別冊1、7月18日、19日、20日、27日に実施した対話内容を報告。</p> <p>資料2、国交省「官民対話・事業者選定プロセスに関する運用ガイド」を参考に、サウンディング型市場調査の評価指標について説明。</p> <p>資料3、地区学校施設利活用検討会開催状況について報告。</p> <p>8月26日に開催された富野地区の検討会では、「複数提案を組み合わせる事業化する事も可能か」「提案者と直接話をして詳しく内容を聞きたい」との意見が出された。</p> <p>次に、8月28日に開催された山舟生地区の検討会では「健康カフェ、教養講座については、5つの学校どこでも対応可能なのか」「提案者と直接話をして詳しく内容を聞きたい」との意見が出された。</p> <p>次に、8月29日に開催された白根地区の検討会では「健康カフェについては、運営は地域の誰がやるのかが問題で、最低何人位のスタッフが必要か」との意見が出された。</p> <p>次に、9月13日に開催された五十沢地区の検討会では「地区で運営するのは難しい」「公的活用の提案はないのか」との意見が出された。</p> <p>最後に、9月17日に開催された東大枝地区の検討会では「地区で活用すべきで、指定管理者制度等を活用し地区で運営したい」「最終的には民間事業者に依頼する事になると思うが、もう少し具体的に内容を聞き取る事はできるのか」との意見が出された。</p> <p>富野地区、白根地区からは地区の検討結果が提出された事の報告。</p> <p>山舟生地区、五十沢地区、東大枝地区については現時点では回答書を頂いておりません。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。前回の審議会が7月10日で、その後にサウンディング調査の対話を行ったという報告と、その後に国の方で運用のガイドラインが出来たので、市への提案内容にあてはめたものについて説明があったが、まず別冊1対話の内容について不明な点やご質問等があれば、皆様からお願いします。</p>
委員	<p>山舟生小で文化財の展示とあるが、梁川分庁舎跡地の利活用とあわせて検討しなくてよいのか。</p>
事務局	<p>本庁舎を増築し、梁川分庁舎を一体とする。梁川分庁舎の利活用については現在検討しているところである。現時点で確定はしていないが、梁川の歴史と文化のまちづくりの推進を軸に、庁舎の利活用を検討している。</p> <p>山舟生小の文化財センターの活用については、旧町単位で保管している文化財の整理、保管を目的としている。現在の保管場所ではスペースが不足しており、整理・保管環境としても好ましくない。旧泉原小学校でも一部保管しているが、</p>

	<p>老朽化がかなり進行しているので、文化財センターが必要となっている。</p>
委員長	<p>ただいまの質問は分庁舎が空くので、そこに保管・展示してはどうかという質問で、小学校と梁川分庁舎を横並びで検討すべきではないかとの質問だと思うが。</p>
事務局	<p>まだ梁川分庁舎の利活用については、確定していないが、伊達氏ゆかりの展示物等のミュージアム的な活用、山舟生小は文化学習・体験の場としての活用と使い分けできないかと考えている。</p>
委員	<p>5つの小学校は、大きく中山間地域と農村地域の2つに分けられる。 例えば、富野小、大枝小、五十沢小は外からのお客様が利用する施設、白根小、山舟生小は文化的な利活用など、総合的な判断が必要ではないか。 地区の意見だけでは偏りが生じてしまう。</p>
委員長	<p>個別の提案が先に示されたが、全体的な方針を策定する事が重要で、総合的な観点からの検討が必要。 提案の中にはできるか分からない未知な提案がある。</p>
事務局	<p>全体方針の部分は、5つの小学校が一度に閉校になったため、方針を決定する事が難しい課題だと承知している。 委員から意見があったように、富野小、五十沢小、大枝小などの比較的農業地域のいわゆる市街化調整区域と、中山間地域の山舟生小、白根小などで分けて、大きな方針を固める事も考えられるが、市の公共施設として残す事は財政的に難しい中、民間事業者に維持管理を担ってもらえればという事で、先行してサウンディング調査をさせてもらった。</p>
委員長	<p>第3回目の際に示した活用の、基本的な考え方4項目をずらしてはいけない。 商業的な利活用に偏りが生じていけば、意見を言わなければならない。 (1)についてその他ご意見はありますか。 なければ(2)学校施設利活用方針の検討の議事に入りますが、利活用方針について今日の協議については、自由に意見をいうことでよいか。</p>
事務局	<p>サウンディング型市場調査結果を踏まえて、白根地区、富野地区からの意見書が出された。この意見書をどう捉えてまとめていけばよいかを議論していただきたい。</p>
委員長	<p>今後の段取りとしてはどうなのか。このまま地元と話し合いを進めてよいかを決めればよいか。</p>
事務局	<p>審議会では、サウンディング型市場調査結果及び各地区の意見を踏まえて、この提案の中から必ず選ばなければいけないわけではないが、利活用の方針を判断して決定してもらいたい。</p>

委員長	<p>委員の皆様も今日この段階で、この事業者に決定するとは思いませんけど、今後どうゆう風に対応していくかを考えていただきたいと思います。</p> <p>具体的に白根小からご意見をお願いします。</p>
委員	<p>事業者あつての利活用計画となる。事業者側は費用対効果を考えることになる。</p> <p>健康カフェをやるために、どう改修するか、何人の従業員を配慮するか、費用をどう回収するかを事業者は考えていく事になる。大繁盛するとは思えない。</p> <p>結果として事業をやめたいと言われるかもしれない。</p>
委員	<p>健康づくりとしては、漢方薬草とカフェを一緒に活用した方が良いのではないかな。特徴ある健康づくりができそうな気がする。</p>
委員	<p>収支計画や事業の継続性、集客性などの見通しを提案者からいただいて、判断する必要がある。</p> <p>白根を健康づくりのシンボルとするのはよいが、将来的な見通しがないと決めづらい。</p>
委員	<p>健康カフェは全ての小学校に提案しているが、事業者は条件のよい学校を選ぶのか。</p>
委員	<p>事務局に確認したいが、5校横並びで提案しているのか。</p> <p>どこの小学校でやりたいという希望はあるのか。</p>
事務局	<p>全校に対して支援が可能と聞いている。</p> <p>5校のうちどこか一つだけという事ではない。</p>
委員長	<p>収支計画は現実的にどうなのか。</p> <p>地元でカフェを運営していただき、ノウハウ提供だけなのか。</p> <p>その上でノウハウの提供料を支払う事になるのか。</p>
事務局	<p>コーヒー取扱店として、コーヒーの豆（粉）を提供する提案。</p> <p>ドリップ機器はどのメーカーでも大丈夫との事で、ロイヤリティーは発生しないので、黒字になった場合は地域の活動資金に使える。</p> <p>カフェや食堂の提案となると、プロデュースコラボ型、フランチャイズ型があり、ロイヤリティーが発生するので厳しい。</p>
委員	<p>コンビニがある中で現実的ではない。</p>
事務局	<p>提案者さんのコーヒーは健康成分が売りと聞いている。</p> <p>健康づくりの一環として提案したいという内容だった。</p>
委員長	<p>地元の人たちは、その提案内容を理解した上で意見書を出したのか。</p>

事務局	<p>地域には運営形態等は説明している。</p> <p>白根地区は健康づくりの活動を続けている地区で、中山間地として何かやっていく意識は高い。</p> <p>地区としては、組織体をつくって利活用していきたいが、提案者との連携を模索していきたいと考えている。</p>
委員長	<p>小学校という大きな箱を維持管理していくことが一番の課題。具体的な収支計画、展望がないと Go サインは出せない。</p>
委員	<p>月舘地区の小手小学校のように、市がクラインガルデン事業を計画しているが、そのイメージなのか。</p> <p>今回の提案者からのノウハウをいただいて、SWC の拠点としてハード部分は市が改修するのか。</p>
事務局	<p>市して体育館の改修は前々から予定していた事業である。</p> <p>校舎の改修まで行うかは検討していかなければならない。</p>
委員長	<p>審議会としては、市と地元で考えてくださいになってしまう。</p> <p>市と地元で具体性、見通し等を含めて検討したものを、審議会に持ってきてもらうという事でよいか。</p>
委員	<p>宿泊施設が入るとなると費用がかかるので、どこまでやるか絞る必要はある。</p>
委員	<p>薬草の事業提案は、白根地域は風通しが良い地域となっている。</p> <p>地元の事業者が考えられた計画だと思うので、もう一度検討して欲しい。</p>
委員	<p>全部の提案をもう一度横並びに見て、一步踏み込んで検討して欲しい。</p>
事務局	<p>放射能の関係で、現時点で薬草の出荷はできないとのこと。</p> <p>すぐに事業化できるかという点と難しい点があり、地元としては早期に利活用を図りたいと考えている。</p>
委員	<p>改修工事をするとなると、少なくとも 10 年、30 年と使う前提でなければならない。</p>
委員長	<p>解体撤去するまでの道筋を考えていく必要がある。</p>
委員	<p>市がどこかで事業をやるとなると、他の地域でもやってほしいとなるのではないか。</p>
委員	<p>他の学校への提案内容に不安があるが、地区の意向を審議会が駄目出しすると、相当の覚悟と説得できる説明が必要となる。</p>

委員長	<p>地域に対しては、再度検討をお願いするということになる。</p> <p>いきなり駄目出しはできないとは思う。</p> <p>富野小学校は皆さんどうでしょう。</p>
副委員長	<p>富野幼稚園の交流館として活用は賛成。</p> <p>ただ子どもの施設なので改修が必要ではないかと思います。</p>
委員長	<p>現在の交流館は解体撤去するという事でよいか。</p>
事務局	<p>危険な建物なので、幼稚園に移転するという事になるのであれば、除却する事になると思われます。</p>
委員	<p>富野小、大枝小の提案について、市の福祉計画、国の補助制度との整合性は大丈夫か。両方の地区で事業を立ち上げる場合は大丈夫か。</p>
事務局	<p>今年度、市の福祉計画を見直す。健康福祉部には報告しており、両地区でよいか、片地区だけなのかは、慎重に検討していかなければならないと回答をもらっている。</p>
委員長	<p>施設が出来た場合に、地元は優先的には入れるのか。</p>
事務局	<p>デイサービスは地元枠を設けられるようであるが、グループホームは福祉法の部分で難しい。</p> <p>国の新たな制度がはっきりしていないが、共生ラウンジは、いろいろな人が利用することが一つの売りとなる。</p> <p>地域をあげてやっていく事が制度の前提となっている。実際どうやっていくかはこれからつめていく必要がある。</p>
委員	<p>高齢者ばかりの利用にならないか。</p> <p>地元が使えるのが一番よい事だと思います。</p>
委員長	<p>地元と提案者は相對していないと思うので、一度懇談してもらって、事業者側に資金計画を含めて、具体化を図ってもらうのはどうか。</p>
委員	<p>賛成。発達障害が多い中、これらを含めた活用提案なので、いい方向に進めばよい。</p>
委員	<p>共生型事業サービスの新たな制度は、高齢者、認知者、デイと地域密着型の色々対象としている。巨額の費用がかかることが気になるが、地域の人活躍できる場所が設定されれば、先が見えてくると思われる。</p>

委員長	<p>富野小学校は、市の計画との整合をつめること。 地元と事業者で懇談の機会を設けてもらうこと。 計画を具体化してもらうこと。 白根は地元と事業の実現性、収支計画などをつめ、内容を再度検討してもらうこと。</p>
事務局	<p>提案者としても、当然事業実施にあたっては、お金をかけていく事をつめていくことになる。提案者にご協力をいただきながら審議会に報告をしていく。</p>
委員長	<p>市として、売却するのか、貸付するのか、いくらで貸すのか考えていく必要があると思います。 3) その他事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>これから地区としての検討結果、方向性が出てくる。 その際、今回のように審議会で議論し、また地区にフィードバックしていかなければならない。 全体としてまとめる部分と、地区としても早く決定して欲しいという意向がある。 審議会ではこのような事も踏まえて、検討協議していきたい。</p>
委員長	<p>全体方針を確認しないといけない。 最終的に審議会でどういう方針で進んでいたのか、次回の議題にしていきたい。</p>
事務局	<p>第5回の会議記録について作成し郵送しますので、内容をご確認していただき、誤りがあれば事務局にご連絡をお願いします。 修正後に、市のホームページに掲載させていただきます。 サウンディング型市場調査結果についても、掲載させていただきますのでよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>長時間にわたりまして、ご審議いただきましてありがとうございました。 以上を持ちまして、第5回伊達市学校施設利活用審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">－ 17 : 15 終了 －</p>